



熊本県益城町

りんどう通信

発行所／第2720地区 熊本りんどうロータリークラブ

VOL.2

2017年 5月29日
発行

全国のロータリアンの皆様に義援金をはじめ様々なお支援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

REPORT

熊本地震からはや1年が過ぎました。

復興にはまだまだ時間がかかります！

これからも私たちにどのような支援ができるか、日々考え行動していくつもりです。
皆様のご協力、アドバイスをよろしくお願いします。

熊本地震発生から、やっと1年が過ぎました。益城町の倒壊家はほぼ解体を終え、寂しい街並みとなっています。当クラブでは地震直後より一丸となって町の復興支援活動行ってきました。昨夏のりんどう通信vol.1発行以降も全国のロータリアンの皆様から多くの激励やご支援をいただきました。

今回お礼の意味を込め、昨年8月から現在までの当クラブの支援活動を「りんどう通信vol.2」でご報告させていただきます。



当クラブの支援活動 (H28年8月～29年5月)

① 広安西小への心のケア義援金 (H28.8.20)

広安西小の児童の心のケアを目的として、現在のストレス度を診断する「ハイパーQUテスト」を実施のための目録を、元気Tシャツを着て行き、校長先生に贈呈しました。



② 復興支援親子Pボート大会 (H28.9.11)

2012年から毎年、段ボールで作ったボートを使った『親子Dボート大会』を継続して参りました。2016年は熊本地震の為、白川での開催ができず、急遽素材をペットボトルに変更し、『親子Pボート大会』をエミナース流水プールで開催することになりました。

ペットボトルを使用してのボート作りに、お父さん、お母さんも真剣な表情を見せ、如何に沈まず早いボートを作るかと知恵を絞り、その後のタイムトライアルレースでは子供達が知恵を絞りパドルングをしたりバタ足をして、その真剣なレース模様に会場は大盛り上がり。喜びと感動、そして親子の絆を深め合う素晴らしい大会となりました。



③ ミニSL乗車会 (H28.10.1~2)



10/1・2に京都府立田辺高校鉄道研究部の先生と生徒8名が来訪され、田辺RC様のご協力によりエミナースに1周約50mのレールを設け、ミニ列車乗車会を開催。親子連れで賑わい被災した子供たちに笑顔と元気を届けました。これは、テレビのニュースや熊本日新聞にも掲載されました!

また、1日の夜は住永会員が「その時どーする!?ピンチに強いリーダー編」というテーマで生徒たちへ講話。その後の懇親会も大変盛り上がりしました。皆さんご苦勞様でした!



⑤ 腹式呼吸とストレッチ教室 (H28.11.3)



豊橋RC会員のmixs.松本孝一代表を招き、被災地の介護施設3か所及び熊本エミナースにて被災者の心身回復、健康増進のためのセミナーを行いました。病気にならない身体のための腹式呼吸法、日常生活で気をつけるべき姿勢や歩き方など、熱心に指導いただき皆元気になりました。



⑥ くまもと復興祭 (H28.11.20)



RI第2720地区、熊本ライオンズクラブ国際協会、熊本青年会議所の共催で熊本駅前白川河川敷にて「復興いのり星(LEDを光源とする光球)」30000個を放流しました。仮設住宅の皆さんもご招待し、約3万人が集まりました。熊本で奉仕活動する3組織の心が一つになる復興への大きなイベントとなりました。当クラブは準備運営を行いブースを設けてロータリークラブのPRも行いました。



④ がまだせ熊本! 被災地復興支援販売 (H28.10.16)



横浜旭RC様と、横浜市旭区で熊本の河内みかんを販売してきました。懐かしのチンドン屋さんのPRもあり、開始1時間で用意した200kgが、あっという間に完売!「頑張ってください」という購入者の声に励まされ、元気をもらいました。

当日の売上金は横浜旭RCより義援金としていただきました。ありがとうございました!



⑦ 創立10周年記念式典・記念講演会 (H28.11.23)



創立10周年を記念式典の際に、元大阪市長の橋下徹氏をお迎えし、チャリティー記念講演会を行いました。橋下氏には、「地方から国を変えるということ」という演題で、熱く心に響く講演をしていただきました。

一般の方も含め約700名にご来場いただき、その収益金は倒壊した益城町木山神宮の修復基金として寄付し、また復興への願いも込めた「のぼり」を作製しました。



⑧ バルーンフェスタ (H29.1.29)

被害の最も大きかった広安小学校で熱気球を上げるイベントを行い、まだ薄暗い早朝から近隣住民、児童含め500名以上に参加していただきました。空の上から益城町の現況、復興の状況を見てもらうことは、今後の復興への勇気を与える良い機会となりました。



⑨ 木山初市 (H29.3.4~5)

例年3月に開催する「木山初市」は町の復興を祈願し、益城町商工会との共催で、避難所となっていた町総合体育館駐車場に場所を移し「益城復興初市」として盛大に行いました。お楽しみ抽選会の豪華賞品と映画「なぜ生きる」の上映会を用意し、ブースも設けポップコーンなどを提供しました。



⑩ 移動式LED街灯設置 (H29.3.23)



RI2720地区の義援金を使い仮設住宅へソーラー蓄電式LED照明48基を寄贈設置しました。仮設住宅の役目が終わった後も数年後の復興計画にて再利用できるよう移設可能なものとしました。益城町長にも出席いただき贈呈式を行い、マスコミにも大きく取り上げられました。

同クラブは益城町とて、西村博則益城町長は「仮設団地の住民からは、暗くて危ないという声が多く寄せられていた。復旧・復興の光に」と感謝を述べた。

⑪ チャリティープロレス (H29.4.11)

被災した広安西小学校体育館で「プロレスで熊本を元気にするぞ」イベントを行い、お年寄りから小学生まで熱い闘いに全員が元気をもらいました。



⑫ 小中学生マロオケ招待 (H29.5.7)

被災した町内小中学校吹奏楽部の生徒さんに本物のオーケストラの音を聴かせるため「最高の男たちの冒険vol.5」コンサートに100名をご招待しました。ブルームスの特集は子供たちの心のケアの一助となりたいへん感謝されました。



⑬ 広安たこ焼きフェスタ (H29.4.23)



高槻東RC様、台湾南徳RC様との共催で広安小にて「本場大阪のたこ焼き」700食を地域住民の皆さんに振る舞いました。高槻東RC様よりたこ焼き器の提供、焼き方のレシピを習い、皆で一致団結して汗を流し「益城×たこ焼き=元気!」を届けるイベントとなりました。



⑭ その他

【支援物資】

横浜旭RC様より仮設住宅へ自転車をいただきました。

【義援金】

福岡中央RC様、台北忠孝RC様、宝塚武庫川RC様、横浜西RC様、横浜旭RC様、朝霞RC様、佐賀北RC様、京都田辺高校PTA様、第2700福岡地区インターアクト様、四日市南プロバスクラブ様はじめ多くの皆さまから義援金をいただき、このような活動ができています。本当にありがとうございます。今後も有意義に使わせていただきます。

編集後記

各町には仮設住宅が建設され、少しずつ元の生活に戻ってきている状況ですが、町の長期的な、そして住民の心の復興はほとんど進んでいないのが現状です。メディアの報道も少なくなり「熊本地震」が風化しつつあるからこそ、被災地から現況を情報発信することが復興への鍵だと考えています。当クラブも一致団結して今まで以上に復興へ向け活動していきたいと考えていますので今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

なお「ロータリーの友」7月号の「クラブを訪ねて」に当クラブの記事が掲載されます。活動内容などが紹介されていますのでご拝読いただければ幸いです。